

競技団体別バレーボール指導者研修会（報告）

- ア 目的** 本県競技指導者の資質向上と選手の資質や能力を十分に引き出すスポーツの科学的・合理的なトレーニング等の指導ができる指導者養成をすることで、本県競技スポーツの全体的なレベルアップを図る
- イ 主催** 島根県スポーツ協会
- ウ 主管** 島根県バレーボール協会 強化部・指導普及部
- エ 実施日時** 令和5年11月25日（土）14:00～17:00、26日（日）9:00～16:00
- オ 実施場所** （25日）松江市立東出雲中学校体育館、（26日）浜田市立第一中学校体育館
- カ 参加者** 島根県バレーボール指導者 計30名
- キ 講師** 金澤 宏 先生 （公財）日本バレーボール協会 公認講師
（公財）日本スポーツ協会 コーチデベロッパー
（公財）広島県バレーボール協会指導者養成委員会副委員長
- ク モデルチーム** （25日）松江市立東出雲中学校、宍道中学校、八雲中学校 女子バレーボール部
（26日）浜田市立第一中学校、浜田東中学校 女子バレーボール部
- ケ 研修概要** （25日）ゲーム形式によるオンコートレクチャー
（26日）コーチングについての講義、基礎技術に関するオンコートレクチャー

コ 研修会を終えて

研修1日目のオンコートレクチャーでは、「このボールは誰がとりにいくの?」「どこをマークすればいいの?」と選手に質問をする形で指導しておられる姿が強く印象に残った。また、選手に向けて、「ボールを触らない人の動き」、「パス力を付けること」、「ボールから目を離さないこと」の重要性を強く説いておられた。

研修2日目は「選手との会話を大切にする」という内容の講義から始まった。選手が「はい」、「いいえ」で答えられる「クローズドクエスション」ではなく「オープンクエスション」となるように、指導者も工夫をしていく必要性を感じた。オンコートレクチャーでは多様な練習メニューから基礎技術の習得を目指した指導について教えていただいた。特にキャリアの浅い選手を指導する場合、選手がやってみようと思える練習メニューの工夫の重要性を強く感じた。

終わりに、今回講義いただいた金澤宏先生に感謝をするとともに、参加者がよりよい指導者を目指してコーチングに向かうきっかけとなることを願う。

